

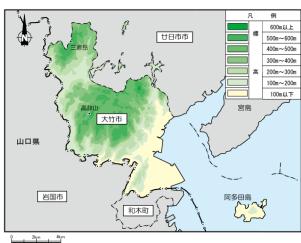
第1節 自然的環境

1 地形・地質

本市は、広島県の西端にあり、面積は78.66 k ㎡で、広島県の約0.93%を占めています。地形は、100m以上の山地が大部分を占め、平坦地は沿岸部の埋立地などを中心に分布しています(図表1-1-1)。地質は、花崗岩質岩石が大部分を占め、三倉岳にみられるような露岩が各地にあります。

■図表 1-1-1 位置図及び地勢図

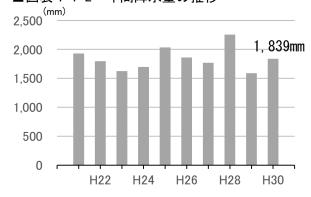




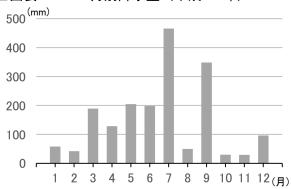
2 気象

気象は、年間を通して温暖で雨の少ない瀬戸 内海式気候です。ここ 10 年間の年間降水量は 1,600~2,200mm 程度、平均気温は 16~17℃で す(図表 1-1-2~1-1-5)。

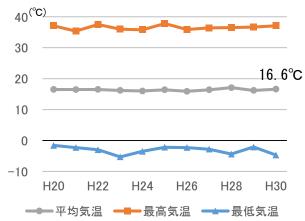
■図表 1-1-2 年間降水量の推移



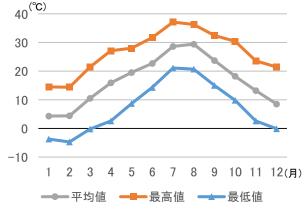
■図表 1-1-3 月別降水量 (平成 30 年)



■図表 1-1-4 平均, 最高及び最低気温の推移



■図表 1-1-5 気温の経月変化(平成 30 年)



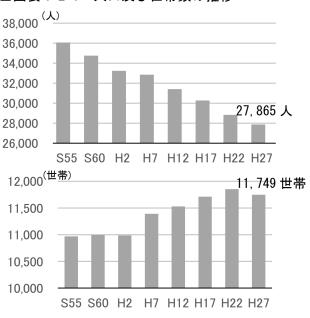
〔資料:大竹市消防本部〕

第2節 社会的環境

人口と世帯数

平成 27(2015)年 10 月 1 日現在 (国勢調査) の人口は27,865人,世帯数は11,749世帯であ り、世帯あたりの人口は2.29人と世帯規模は 依然減少し続けています。

■図表 1-2-1 人口及び世帯数の推移



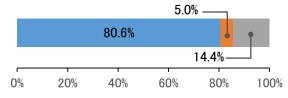
[資料:国勢調查]

2 産業

(1) 製造品出荷額

製造品出荷額は約2,615億円で,化学工業が 全体の約80%を占めています(図表1-2-2)。

■図表 1-2-2 製造品出荷額の割合



■化学工業 ■プラスチック製品製造業 ■その他 〔資料:平成29年工業統計調查〕

注)パルプ・紙・紙加工品製造業の製造品出荷額 など,事業者が特定されるものについては,秘匿 処理されています。

(2) 産業(大分類)別従業者数,事業所数

平成26年経済センサス基礎調査によると、

公務を除く全産業の従業者数は14,250人,事 業所数は 1,287 事業所であり, その内訳は図表 1-2-3 のとおりです。

■図表 1-2-3 従業者,事業所の割合



■卸売業, 小売業

■サービス業(他に分類されないもの)

■建設業 ■宿泊業、飲食サービス ■製造業 ■医療, 福祉

[資料:平成26年経済センサス-基礎調査]

■その他

上下水道

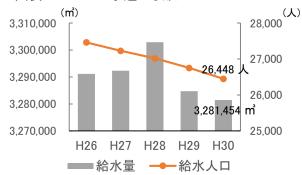
過去5年間の給水量は、給水人口の減少に伴 って減少傾向にあり平成30年度は約328万㎡ となっています。下水道の普及率は向上し、平 成30年度は94.9%となっています。

■図表 1-2-4 上下水道の状況(平成 31 年 1 月 現在)

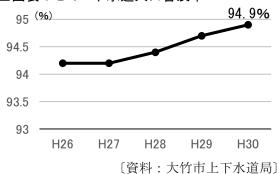
上水道

給水人口	26,448 人	
給水戸数	12, 488 戸	
給水量	3, 281, 454 m ³	
排水総量	4, 040, 005 m ³	
排水 1 日平均	110, 069 m ³	
公共下水道		
処理人口	25, 591 人	
下水道供用面積	715ha	
人口普及率	94.9%	

■図表 1-2-5 上水道の状況



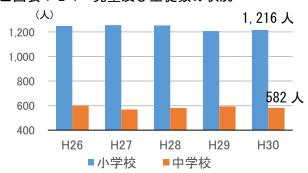
■図表 1-2-6 下水道人口普及率



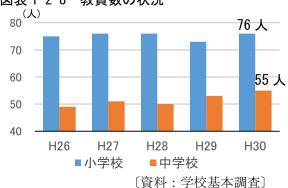
4 学校

平成30年5月1日現在の学校数は、小学校4校、中学校3校で、児童数は1,216人、生徒数は582人です。また教員数(本務者)は小学校が76人で中学校が55人です。

■図表 1-2-7 児童及び生徒数の状況



■図表 1-2-8 教員数の状況



5 公園緑地

公園・緑地の状況は、図表 1-2-9 のとおりであり、面積は全体で約 29ha です。

■図表 1-2-9 本市における公園緑地の状況 (平成31年3月現在)

区分	箇所数	面積(ha)
近隣公園	1(さかえ)	2. 29
地区公園	1(亀居)	7. 32
街区公園	54	5. 00
都市緑地	1(中浜)	1. 46
総合公園	1(晴海)	12. 76

〔資料:大竹市都市計画課〕

6 土地利用

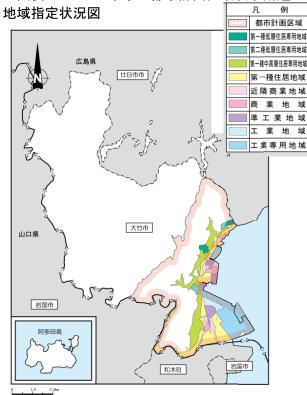
本市における都市計画区域及び用途地域の 指定状況は、図表 1-2-10 及び図表 1-2-11 のと おりです。工業専用地域、工業地域、準工業地 域に隣接した住居地域が多くあります。

■図表 1-2-10 本市における都市計画区域及 び用途地域面積

区分	面積(ha)
都市計画区域	2298. 2
市街化区域	979.8
第1種低層住居専用地域	23. 0
第2種低層住居専用地域	27. 0
第1種中高層住居専用地域	238. 8
第2種中高層住居専用地域	
第1種住居地域	267. 6
第 2 種住居地域	
準住居地域	
近隣商業地域	50. 3
商業地域	24. 1
準工業地域	60. 7
工業地域	34. 0
工業専用地域	254. 3

〔資料:大竹市都市計画図 H30(2018)年〕

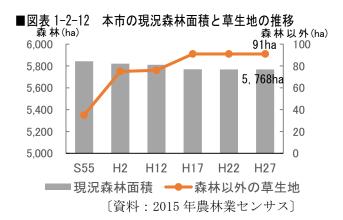
■図表 1-2-11 本市の都市計画区域及び用途



[資料:大竹市都市計画図 H30(2018)年]

森林・農地

現況森林面積は減少し,森林以外の草生地が 増加傾向にありますが、ここ 10 年は変動が見 られません (図表 1-2-12)。



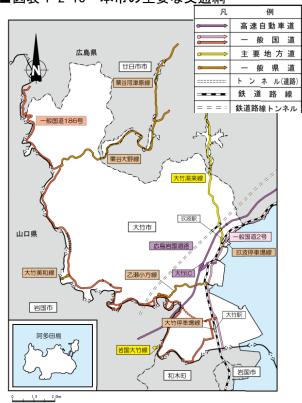
交通 8

主要な交通網は、JR 山陽本線、山陽自動車 道(広島岩国道路),一般国道2号などがあり ます (図表 1-2-13)。JR 山陽本線の旅客乗車 人員は,大竹駅は横ばい,玖波駅は少しずつで すが減少しています。また,大竹駅では約500t

の貨物を扱っています(図表 1-2-14)。

平成 27 年度の 24 時間交通量は, 平成 22 年 度と比較すると、山陽自動車道で約3,600台、 国道 2 号では約 250 台の増加となっています (図表 1-2-15)。

■図表 1-2-13 本市の主要な交通網



■図表 1-2-14 玖波・大竹駅の 1 日あたり輸送実績



[資料:西日本旅客鉄道㈱広島支社,日本貨物鉄道㈱大竹駅]

■図表 1-2-15 山陽自動車道と一般国道 2 号 の平日自動車類24時間交通量 台風災害に



■山陽自動車道(大竹JCT) ■一般国道2号(翠橋)

[資料:平成27年度道路センサス]